



テーマ **暗闇の中の光**

どなたでも
受講できます

開催概要

- ・対面式
- ・会場／白百合女子大学 11号館 3Fクララホール
都合により講座の延期や中止、内容変更等生じる場合がございます。
その際には大学ホームページにてお知らせいたします。

受講料

1000円、当日支払い

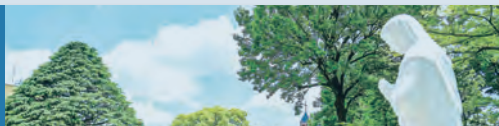
申込方法

申込みフォーム（右記QRコード）
または大学HPよりお申込みください



5/10 Sat

14:00~15:30



暗闇の先に、暗闇と共に

— 旧約・新約を貫くメッセージ —

キリスト教の伝統において、聖書の物語は神学や教義を支える思想的源泉資料であると同時に、市井を生きる無数の無名の人々の日々を照らすものでもあり続けてきました。旧約聖書と新約聖書を通じて展開される救い主誕生までの出来事、クリスマス物語を追いながら、暗闇を照らすものとしての聖書物語を味わってみましょう。

※本講座は2名による対談を含みます。



海老原晴香

白百合女子大学
カトリック教育センター 准教授



中村真希

日本聖公会東京教区執事
東京聖十字教会牧師補



6/7 Sat

14:00~15:30

久保文彦

白百合女子大学
カトリック教育センター
非常勤講師

天地創造物語が私たちに語りかけるメッセージ

「光あれ」という呼びかけは、聖書の最初に記された神のことばです（創世記1章2節）。創世記冒頭の天地創造物語（1章1節～2章4節a）は、この光に代表される全宇宙の秩序を整然と作り上げた神の業について語ります。本講座では、聖書の天地創造物語の文学的・思想的な特徴を分析し、その現代的意義について学びます。



7/12 Sat

14:00~15:30

石井雅之

白百合女子大学
カトリック教育センター 教授

「暗闇」の中に「光」が見出されることの意味を探る

「闇の中に光を見た」といえるような経験として、あなたはどんな経験をお持ちでしょうか？参加者と講師の経験ないしは伝聞を分かちあうことから始めて、聖書のいくつかの関係箇所を玩味し、また「光」に関する歴史上の思想を少しばかり参照することによって、私たちが「暗闇」の中で「光」を見出すことの意味を探りたいと思います。



11/8 Sat

14:00~15:30

高山貞美

聖心布教会司祭
白百合女子大学 前学長
上智大学名誉教授

苦しむ神、よみがえる神

世界の諸宗教には「苦しむ神」があり、さらに「苦しむ神、よみがえる神」さえ存在します。「暗闇の中の光」ともいうべき神々を訪ねて、遠藤周作『深い河』より女神チャームンダー、中世日本神話の「熊野の本地」物語、第二イザヤ書の「苦難の僕」、そしてイエスの「死と復活」について取り上げたいと思います。



12/6 Sat

14:00~15:30

釘宮明美

白百合女子大学
カトリック教育センター 教授

「暗夜」の思想とクリスマスの神秘

十字架の聖ヨハネは、人間の魂が神との一致に至る過程を「暗夜」に喩えました。私たちの人生は暗闇を照らすひとすじの光に導かれています。降誕祭を前に「言のうちに命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。」（ヨハネ1：4-5）という聖句の意味について共に考えてみたいと思います。

問合せ先

社会連携センター

03-3326-6877

renkei@shirayuri.ac.jp

白百合女子大学

〒182-8525 調布市緑ヶ丘1-25

https://www.shirayuri.ac.jp/

